

# ALS治療研究センター

2021年10月1日、当院では新たにALS治療研究センターを開設しました。

ALS(筋萎縮性側索硬化症: Amyotrophic Lateral Sclerosis)は国が指定している難病の一つで、治療法が確立されてない原因不明の疾患です。

当院は、山形県指定の難病診療分野別拠点病院として、山形大学医学部附属病院(難病診療連携拠点病院)と連携し、神経難病分野の治療研究に取り組んでいます。

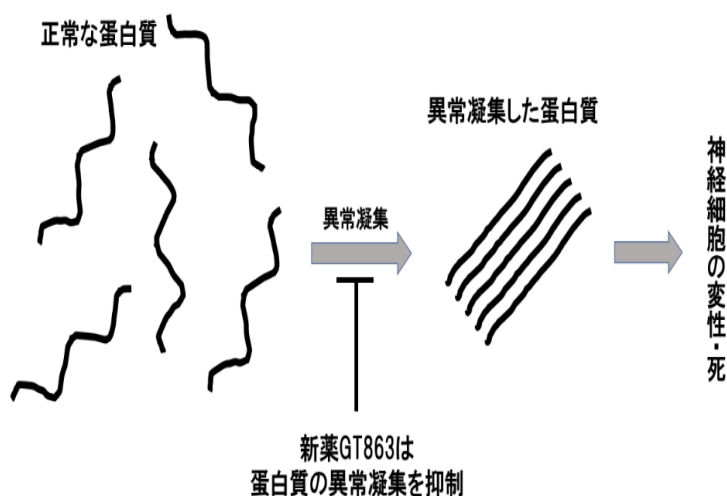
## 【取り組み内容】

- ・ ALS治療薬の開発
- ・ ALSの積極的な疫学調査による危険因子および予防法の探索

## ◆ ALS治療薬の開発

センター長が山形大学に在職中、ベンチャー企業「グリーンテック」(代表: 杉本八郎氏)との共同研究により新薬GT863がALSモデルマウスの進行を遅らせ、生存期間を延長させることを見出しました。ALSでは脳や脊髄の運動神経細胞内で蛋白質が異常凝集することがわかっており、この異常凝集が運動神経の変性や細胞死に関与していると考えられています。

GT863には、この異常凝集を抑える作用があることがわかりました。これは既存薬にはない効能・効果であり、ALSの新たな治療法ということが出来ます。



独立行政法人 国立病院機構 山形病院

〒990-0876 山形県山形市行才126-2

TEL 023-681-2303 (直通) FAX 023-681-9477 (直通)

ALS治療研究センター長 加藤 丈夫



# 山形県難病医療体制

